

日本アジア投資株式会社
2027年3月期 第1四半期
決算補足資料

決算発表日:2026年8月14日

1. 総括	P3
2. 当四半期の実績	P4
3. 中期経営計画の進捗状況	P6
4. トピックス	P9
5. 業績予想	P13
6. 参考情報	P15

本資料内の業績数値は全て従来連結基準にて表示しております。

1. 当四半期実績

✓ 株式売却が好調で大幅増収・黒字転換※

※なお、ファンド連結基準では、ファンドのコストが計上されるため△14百万円の赤字決算

✓ 期ずれした未上場株式を売却、株価上昇時に上場株式の売却が進捗

✓ AUM増加に伴いファンドやプロジェクトからの安定した報酬が増加

2. 中計の進捗

✓ 投資開発事業(プロジェクト投資):

障がい者グループホーム2棟を新規取得、物流施設1件の建設着工

✓ 投資運用事業(株式投資):

AUM増加額10億円 (1ファンドの出資履行と2ファンドの増額)

3. トピックス

✓ 2026年4月 KICホールディングスの100%子会社化

JAICアセットマネジメントにパートナーが資本参加

✓ 2026年7月 未行使の新株予約権(行使価額修正条項付)の取得・
消却を決定

4. 業績見込

✓ 期初見込に修正無し、127.2%増収、3億円の黒字を見込む

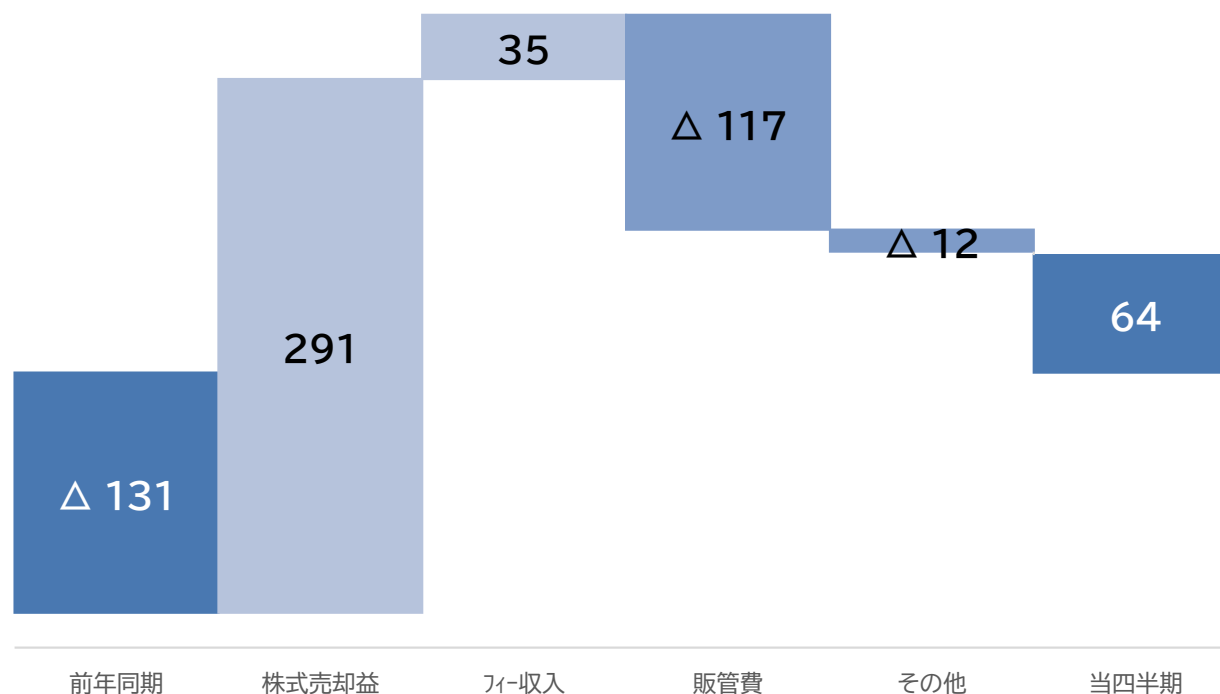
✓ 今後投資する上場株式を含めた株式の売却益を見込む

✓ パートナーとの協業により、JAICアセットマネジメントのフィー収入
増加を見込む

2. 当四半期の実績－ハイライト P/L

(単位:百万円)	2026年3月期 第1四半期	2027年3月期 第1四半期	増減率
営業収益	95	↗ 775	713.3%
営業原価	21	378	1693.0%
営業総利益	74	397	434.6%
販管費	225	342	51.9%
営業利益	△151	54	-
経常利益	△164	41	-
親会社株主に帰属 する四半期純利益	△131	↗ 64	-

親会社株主に帰属する四半期純利益の増減要因



✓ 大幅増収・黒字転換の要因:

- 株式の売却:
未上場株式では前期から交渉を継続していた銘柄の売却が実現、上場株式では株価上昇銘柄の売却が進捗
- フィー収入: AUM増加に伴いファンドからの安定した収入が増加、前期末にM&Aした子会社の収入も寄与
- 販管費: M&Aにより取得した子会社の経費が増加

2. 当四半期の実績－ハイライト B/S

(単位:百万円)	2026年3月期末	2027年3月期 第1四半期末	増減率	主な増減要因(単位:億円)
総資産	10,704	10,760	0.5%	
うち 現預金	2,738	 2,416	△11.8%	回収+11、投融資実行△9、 予約権行使+3、返済△4、 費用△3、その他△1
うち 投資開発事業 (引当後 プロジェクト投資 (営業投資有価証券・貸付金))	3,912	3,882	△0.8%	投融資実行+2、 分配・売却・回収△2
うち 投資運用事業 (引当後 プライベートエクイティ投資 (営業投資有価証券))	2,899	 3,344	15.3%	投資実行+7、含み益+1、 分配・売却・回収△4
借入金	2,710	 2,339	△13.7%	返済△4
自己資本	7,463	 7,982	6.9%	予約権行使+3、利益+1、その 他+1

✓ 総資産の金額は前期末並みの水準

- ・ 現預金 : 投資実行・借入金の返済により減少
- ・ 投資資産: プライベートエクイティで投資実行が進捗したため増加
- ・ 借入金 : 計画に基づき返済を実施
- ・ 自己資本: 新株予約権の行使や利益により増加

3.中期経営計画の進捗状況

－資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応



現状分析

PBRが1倍を下回る状態が継続 ➡ 要因は投資利益率の低さと資産回転率の低さ

決算年月	2019/3月	2020/3月	2021/3月	2022/3月	2023/3月	2024/3月	2025/3月	2026/3月
PBR(倍)	0.41	0.36	0.53	0.41	0.53	0.68	0.94	0.54
ROE(%)	8.7	4.9	0.5	0.3	赤字	赤字	6.5	赤字
PER(倍)	5.9	9.1	142.3	200.9	赤字	赤字	15.2	赤字
ROA(%)	2.00	1.20	0.13	0.09	赤字	赤字	2.59	赤字

目指す姿

PBRの改善に向けて ➡ 株主資本コスト(約13.4%)並みのROEを実現

- ① 安定収益の拡大 (フィー収入で固定費をカバーし黒字化定着➡業績の不確実性を低減)
- ② 収益性の改善 (長期滞留資産を早期に回収し資産を入れ替え➡資産の回転率の改善 & アセットアロケーション・事業ポートフォリオの見直し➡収益性の改善)
- ③ リファイナンスの実現と財務レバレッジの改善
- ④ IR活動のアップデート

計画・目標

重要な成果指標(KPI)

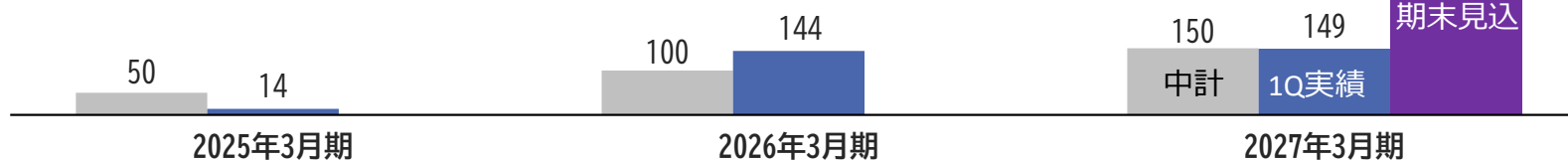
	2027/3月期
投資開発事業 運用資産規模(AUM)増加額	150億円
投資運用事業 運用資産規模(AUM)増加額	300億円
ファンド・プラットフォーム事業 受託資産規模(AUA)残高	4000億円

重要な目標指標 (KGI)

	24/3月期	27/3月期	目指す姿
安定収益	2億円	8億円	10.8億円
ROE	赤字	12.7%	資本コスト 13.4%以上
親会社株主に帰属 する当期純利益	△16億円	10億円	黒字化の定着 一時収益の増加

①投資開発事業 運用資産規模（AUM）新規獲得分のみ残高目標

億円 ■ 中期経営計画 ■ 実績 ■ 見込

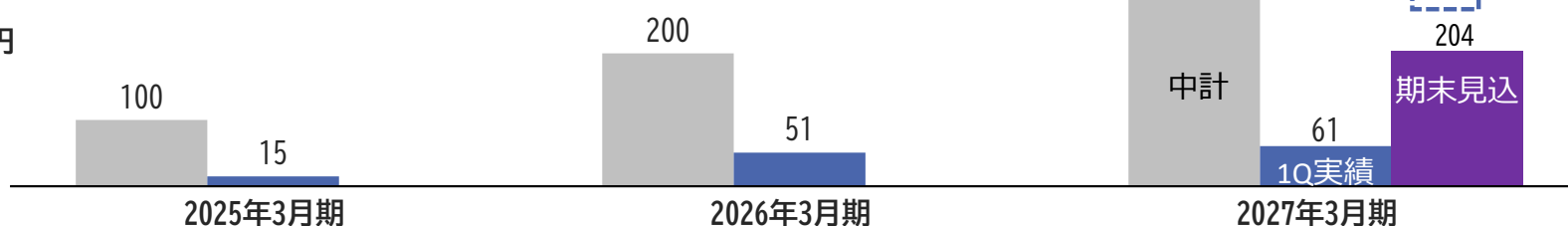


パートナーとの協業や多様な不動産の開発により、さらに増加見込み



②投資運用事業 運用資産規模（AUM）新規獲得分のみ残高目標

億円



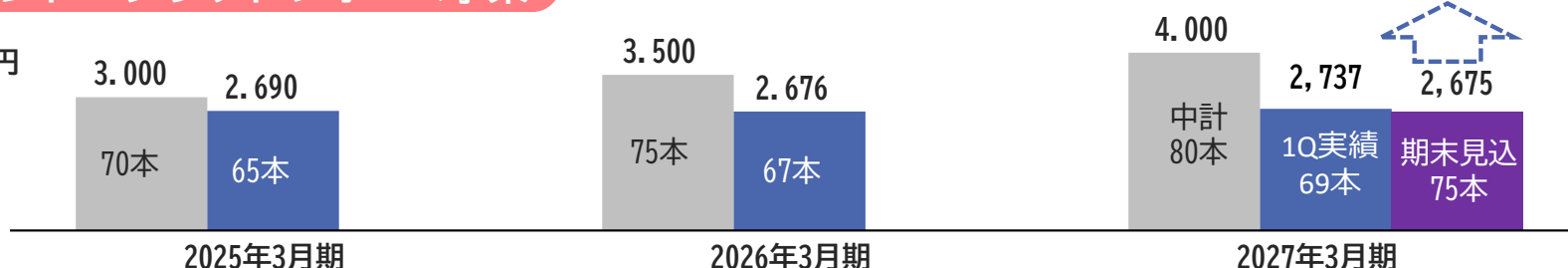
ライセンスを活用した募集で増加目指す



③ファンド・プラットフォーム事業

受託資産規模（AUA）期末残高目標

億円



投資運用事業のAUMに伴い増加可能性



- ✓ 投資開発事業:前期に実施したM&A効果で目標達成見込み、パートナーとの協業などにより上振れの見込み
- ✓ 投資運用事業:大型ファンドが組成できず目標未達の見込み、今後はライセンスを活用して増加を目指す
- ✓ ファンド・プラットフォーム事業:目標未達の見込みだが採算性は向上、投資運用事業のAUMに伴い増加の可能性

3.中期経営計画の進捗状況－AUM増加額の内訳

ファンド名称	設立日	ファンド総額 (期中増加額)	ファンド総額 (期末残高)	主な投資対象等
JAICパートナーズファンド	2024年6月		179百万円	当社と共同で事業シナジー創出に取り組む国内の上場及び未上場企業
JAICスペシャルティファンド	2025年1月	214百万円	826百万円	国内のお土産品業界、小売業界、観光業界において、事業成長と地方創生の好循環に取り組む上場企業等
JAICサプライチェーンファンド	2025年1月		830百万円	製造業におけるサプライチェーン関連の上場企業
JAIC-Web3ファンド	2025年2月		465百万円	Web3(NFT 等)関連の国内上場企業
JAICクリプトアセット株式ファンド	2025年7月		2,480百万円	クリプトアセット(暗号資産)関連企業
JAIC-DLEアニメIPファンド※1	2025年7月		201百万円	主に、日本国内のアニメIP やアニメIPを利用したコンテンツを投資対象としたファンド
JAICスケールアップファンド	2025年6月	45百万円	346百万円	事業規模拡大(スケールアップ)を目指す国内上場企業
おみやげファンド1号	2026年3月 ※2	802百万円	802百万円	お土産品業界のロールアップに特化したファンド
合計		1,061百万円	5,928百万円	

※1:2026年6月清算開始

※2:出資履行は2026年4月

※3: 2025年10月に設立したONE-JAPAN 観光ファンドは、出資未履行のため上記表に含めていない。

子会社化による不動産開発ノウハウの取得

- 100%子会社化の実施：
2026年4月
- インフラ資産開発のリソース獲得：
KICHDが持つ物流施設の開発ノウハウを
当社グループ内に統合
- 次世代インフラへの展開：
需要が急増する「データセンター」プロジェクトの
開発に進出し更なる事業拡大へ



KIC春日部ディストリビューションセンター 2 外観

JAICアセットマネジメントにパートナーが資本参加

- ✓ 2026年5月、RSホールディングスグループがJAICアセットマネジメント(株)に40%資本参加
- ✓ RSグループの不動産開発の知見と、JAICアセットマネジメントの不動産ファンド運営の知見を融合して事業拡大を目指す



RSIM社との強力な協業

多様な不動産アレンジ実績を持つ
RSIM社とノウハウを融合して
AUM(運用資産規模)を拡大

パートナー企業概要

名称	RS Investment Management 株式会社
所在地	東京都港区六本木 6-3-1 六本木ヒルズクロスポイント 6 階
代表者	代表取締役 若林 要
事業内容	不動産に関するアレンジメント事業及び付随する関連業務
設立	2019 年 7 月 22 日
株主構成	RS ホールディングス株式会社 100%
RSグループ実績	グループ全体の運用資産総額(AUM)は約6,000億円

JAICアセットマネジメントのライセンス活用



グループ既存事業の統合

JAICが持つプロジェクト投資資産を集約し、重複機能を解消して徹底した効率化を推進



AM機能の内製化

アセットマネジメント機能の内製化により、コスト削減、プロジェクト資産からの安定収益拡大を実現



取扱アセットの多様化

物流、ヘルスケア等の不動産に加え、新たに有価証券等を投資対象とするファンドの取り扱いも開始予定

4.トピックスー新株予約権(行使価額修正条項付)の取得・消却

2025年10月 決議時点

新株予約権(行使価額修正条項付)	
調達予定額	2,507百万円(※1)
行使価額	当初行使価額252円(※2)
株式数	10,000千株
行使期間	2025/11/11~ 2027/5/11

2026年8月13日時点
(行使進捗率 55.0%)

新株予約権(行使価額修正条項付)	
調達額	926.6百万円
行使価額	平均 168.4円
発行株式数	5,497千株
行使期間	2025/11/11~ 2026/8/13

2026年8月14日
取得・消却分

新株予約権(行使価額修正条項付)	
調達額	—
行使価額	—
発行株式数	4,503千株
行使期間	—

※1 調達予定額は、行使価額修正型新株予約権の全てが、当初行使価額で行使されると仮定した数値です

※2 行使価額が修正されるため、調達予定額は変動します

- ✓ 資金調達実績: 約9.3億円 (2026年8月13日時点)
- ✓ 資金使途: データセンターへの投資資金/AUMの積み上げのためのファンド出資金/ M&A資金
- ✓ 取得・消却理由: 下限行使価額126円/株の株価水準のため追加行使が見込めず
- ✓ 今後の資金調達: 市場環境の変化を踏まえた投資戦略を再検討し、必要に応じて資金調達方法も再検討予定

5. 業績予想－通期業績予想の詳細

(単位:百万円)	2026/3期 実績	2027/3期 通期見込	増減率
営業収益	1,320	3,000	127.2%
営業原価	673	1,080	60.3%
営業総利益	646	1,920	197.0%
販管費	957	1,570	64.0%
営業利益	△310	350	-
経常利益	△378	250	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	△214	300	-

- ✓ 期初の業績予想に修正なし、127.2%増収、3億円の黒字を見込む
- ✓ 株式売却益の大幅増加を見込む、上場株式では、現在保有銘柄に加え今後投資する銘柄の売却も見込む
- ✓ JAICアセットマネジメントでフィー収入の大幅増加を見込む、パートナーとの協業によりAUMが増加見込み
- ✓ ファンドの運営報酬も、AUMと共に着実に増加する見込み
- ✓ プロジェクトの売却は、一定程度の増加に留まる見込み
- ✓ 販管費は、子会社の増加、のれんの償却負担発生により増加見込み

5. 業績予想－将来情報についてのご注意

- ✓ 業績予想につきましては、当社グループが展開するプライベートエクイティ投資はその事業特性上株式市場等の変動要因による影響が極めて大きく、加えて昨今の変動の激しい環境下においては合理的な業績予想が困難なため、当社は業績予想を行っておりません。
- ✓ しかしながら、投資家及び株主の皆さまの利便に資するべく、業績予想に代えて、ある一定の前提を元に策定した「従来連結基準による見込値」を、数値の確度は低いものの、参考情報として開示しております。
- ✓ なお、当該「従来連結基準による見込値」をはじめとする本資料に掲載されている全ての将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報及び一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の数値は様々な要因により記述されている内容とは大きく異なる可能性があります。

投資活動の紹介	P16
プロジェクト投資 案件一覧	P17
営業収益・営業原価 内訳	P22
主要データの推移	P23
営業収益・営業原価 内訳推移	P24
事業領域	P25
JAICの強み	P26
サステナビリティへの取り組み	P27
会社概要	P28

おみやげファンド1号による(株)スマイル-リンクへの投資実行



社名 株式会社スマイル-リンク
代表者 代表取締役 斎藤 裕幸
本店 愛知県豊橋市
事業内容 お土産品の企画/卸売/小売
URL <https://egao-tsunagu.com/>



BRAND



タカチホへ
JAICスペシャルティ
ファンドを通じて投資

タカチホと
おみやげファンド
で協業

スマイル-リンクに投資
実行、両社の企業価値
を向上



株式会社タカチホ
(東証スタンダード・名証メイン:8225)

- ✓ タカチホと業務提携
- ✓ お土産品業界のロールアップ特化型ファンドへタカチホが出資
- ✓ タカチホの商流に乗る企業の第1号案件として、スマイル-リンクに投資を実行
- ✓ 事業連携により、タカチホとスマイル-リンク双方の事業拡大を目指す

プロジェクト投資 案件一覧-1 (2026年6月末)



プロジェクト 種類		発電所名/所在地	発電容量 (MW)	プロジェクト進捗状況	FIT (税抜、円)
メガソーラー 発電	1	熊本県球磨郡錦町(※)	3.1	売電中 (2015年12月売電開始)	40
	2	野間池ソーラー発電所(※)	2.4	売電中 (2017年5月売電開始)	36
	3	御田神辺池ソーラー発電所(※)	1.5	売電中 (2017年9月売電開始)	32
	4	岩手一関ソーラーパーク(※)	2.4	売電中 (2018年1月売電開始)	36
	5	中王田池ソーラー発電所(※)	2.4	売電中 (2018年4月売電開始)	36
	6	東王田池ソーラー発電所(※)	2.4	売電中 (2018年7月売電開始)	36
	7	広野ソーラーパーク	2.7	売電中 (2020年2月売電開始)	40
	8	厚岸ルークシュポール太陽光発電所	2.3	売電中 (2020年5月売電開始)	40
	9	うきは市しらかべ太陽光発電所、 うきは市みずのさと太陽光発電所、 うきは市みのうアルプス太陽光発電所	合計3.0	売電中 (2020年3月～5月売電開始)	36
合計 22.2MW (うち当社出資持分 4.6 MW)					

※:JAICソーラー2号投資事業有限責任組合から投資しているプロジェクト。

プロジェクト投資 案件一覧-2 (2026年6月末)

プロジェクト 種類		所在地	発電容量 (MW)	プロジェクト進捗状況	FIT(税抜、円)
屋根置型蓄電池付太陽光発電設備	1	埼玉県越谷市	0.2	売電中(2022年12月売電開始)	—
	2	埼玉県日高市	0.3	売電中(2023年2月売電開始)	—
	3	神奈川県厚木市	0.7	売電中(2023年2月売電開始)	—
	4	東京都あきる野市	0.3	売電中(2024年4月売電開始)	—
バイオマス 発電	1	三重県松阪市	2.0	売電中(2018年1月売電開始)	—
	2	三重県松阪市	2.0	売電中(2025年3月売電開始)	—
バイオガス 発電	1	青森県上北郡東北町	0.03	売電中(2018年11月売電開始)	39

プロジェクト投資 案件一覧-3 (2026年6月末)

プロジェクト 種類		所在地	規模	プロジェクト進捗状況
障がい者 グループ ホーム	1	福島県いわき市	入居者用20～21室、短期入所用2～3室	営業中(2023年8月営業開始)
	2	熊本県熊本市	同上	営業中(2024年3月営業開始)
	3	熊本県八代市	同上	営業中(2023年12月営業開始)
	4	鹿児島県霧島市	同上	営業中(2025年3月営業開始)
	5	佐賀県佐賀市諸富町	同上	営業中(2024年5月営業開始)
	6	福岡県朝倉市	同上	営業中(2024年5月営業開始)
	7	大分県大分市	同上	営業中(2025年7月営業開始)
	8	福岡県直方市	同上	営業中(2024年11月営業開始)
	9	宮崎県宮崎市	同上	営業中(2025年9月営業開始)
	10	福岡県久留米市	同上	営業中(2024年11月営業開始)
	11	佐賀県小城市	同上	営業中(2025年1月営業開始)
	12	長崎県大村市	同上	営業中(2024年11月営業開始)
	13	熊本県山鹿市	同上	営業中(2024年12月営業開始)
	14	宮崎県都城市	同上	営業中(2025年1月営業開始)
	15	鹿児島県薩摩川内市	同上	営業中(2026年2月営業開始)
	16	茨城県龍ヶ崎市	同上	営業中(2026年3月営業開始)
	17	福岡県北九州市門司区	同上	営業中(2025年5月営業開始)
	18	熊本県上益城郡	同上	営業中(2025年7月営業開始)
	19	福岡県中間市	同上	営業中(2025年10月営業開始)
	20	宮城県仙台市	同上	建設中

プロジェクト投資 案件一覧-4 (2026年6月末)

プロジェクト 種類		所在地	規模	プロジェクト進捗状況
障がい者 グループ ホーム	21	福岡県糸島市	同上	営業中(2026年1月営業開始)
	22	福岡県飯塚市	同上	営業中(2026年2月営業開始)
	23	佐賀県佐賀市	同上	営業準備中(2026年10月営業開始予定)
	24	栃木県栃木市	同上	企画中
	25	福岡県福岡市※	同上	建設中
	26	鹿児島県鹿児島市※	同上	建設中
	27	神奈川県平塚市※	同上	企画中
	28	千葉県幕張市※	同上	企画中
	29	兵庫県加古川市※	同上	営業中(営業中物件の取得)

※株式会社エヌ・ケー興産との合併会社であるエヌ・ケーJAICソーシャルアセットマネジメント株式会社の投資物件

プロジェクト投資 案件一覧-4 (2026年6月末)

プロジェクト 種類		所在地	規模	プロジェクト進捗状況
植物工場		兵庫県丹波篠山市	年間生産量 合計約470t	1号工場 2019年3月稼働 2号工場 2022年8月全面稼働
物流施設	1	埼玉県春日部市	延床面積約18,095㎡、地上4階建	2025年2月竣工
	2	埼玉県春日部市※	延床面積約6,412㎡、地上3階建	建設中(2027年12月竣工予定)
	3	神奈川県厚木市※	延床面積約10,369㎡、地上3階建	2022年9月竣工
	4	埼玉県越谷市※	延床面積約11,212㎡、地上4階建	2021年10月竣工
	5	東京都武蔵村山市※	延床面積約9,208㎡、地上4階建	2001年10月竣工
データセン ター	1	福島県双葉町	2MW(メガワット)受電規模のコンテナ形式によるAI データセンター	建設中(2026年12月運用開始予定)
	2	非公開	非公開	企画中

※KICホールディングス(株)またはJAICアセットマネジメント(株)でアセットマネジメントやプロパティマネジメントを受託している物件

プロジェクト 種類		所在地	内容	プロジェクト進捗状況
その他	1	神奈川県藤沢市	元工場をリノベーションした創作活動向けシェア施設	営業中(2023年4月営業開始)
	2	—	電動アシスト自転車のサブスクリプションプロジェクト	2022年8月初回投資実行
	3	東京都港区虎ノ門	樹木葬プロジェクト 光円寺「芝愛宕の森™」	営業中(2023年5月開園・販売開始)
	4	京都府京都市	樹木葬プロジェクト 海宝寺「伏見桃山の森」	営業中(2023年11月開園・販売開始)

営業収益・営業原価 内訳

(単位:百万円)	合計		投資開発事業		投資運用事業		ファンド・プラットフォーム事業	
	2026年3月期 第1四半期	2027年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	2027年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	2027年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	2027年3月期 第1四半期
営業収益	95	775	30	↗ 62	24	↗ 670	41	43
管理運営報酬等	46	72	0	0	11	↗ 34	33	36
営業投資有価証券売却高	3	633	-	-	3	↗ 633	-	-
組合持分利益・インカム・イン等	23	36	21	35	1	1	-	-
その他営業収益	22	33	7	↗ 26	7	0	7	6
営業原価	21	378	13	25	7	353	-	-
営業投資有価証券売却原価	3	345	-	3	3	↗ 342	-	-
営業投資有価証券評価損・ 投資損失引当金繰入額	-	13	-	1	-	11	-	-
組合持分損失等	13	14	9	14	3	0	-	-
その他営業原価	4	6	4	6	-	-	-	-
営業総利益	74	397	16	↗ 37	16	↗ 316	41	43

- ✓ 投資開発事業:増収・増益: 営業収益(その他営業収益)が増加:
前期末に子会社化したKICホールディングスとJAICアセットマネジメントのフィー収入が増加
- ✓ 投資運用事業:増収・増益:
 - 営業収益(売却高)、営業原価(売却原価)がそれぞれ増加:
未上場株式では前期から交渉をしていた銘柄の売却が実現、上場株式では株価上昇銘柄の売却が進捗
 - 営業収益(管理運営報酬等)が増加:AUM増加に伴いファンドからの安定した報酬が増加

主要データの推移

(単位:百万円)	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期	26年3月期 第1四半期	27年3月期 第1四半期
業績							
営業収益	2,409	3,017	964	2,150	1,320	95	775
営業総利益	1,276	961	△427	1,160	646	74	397
販売費及び一般管理費	1,189	1,147	1,094	886	957	225	342
営業利益	86	△185	△1,522	273	△310	△151	54
経常利益	61	△224	△1,569	438	△378	△164	41
親会社株主に帰属する当期純利益	49	△269	△1,574	399	△214	△131	64
財務状況							
現預金	2,740	2,464	1,750	3,292	2,738	2,914	2,416
引当後 営業投資有価証券・貸付金(プロジェクト投資)	6,781	6,053	5,248	4,088	3,912	4,066	3,882
引当後 営業投資有価証券(プライベートエクイティ投資)	4,812	4,083	3,003	2,856	2,899	3,157	3,344
借入金	5,943	5,142	4,314	3,495	2,710	3,172	2,339
自己資本	7,779	7,518	5,633	6,907	7,463	6,963	7,982
総資産	14,972	13,413	10,438	10,693	10,704	10,602	10,760

(単位:百万円)	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期	26年3月期 第1四半期	27年3月期 第1四半期
ファンド設立・増加額	1,001	3,701	1,400	1,569	3,499	272	1,061
ファンド運用残高	16,463	15,850	15,497	14,130	17,629	14,402	18,690
うち 当社グループ出資額	4,953	3,389	2,428	1,707	2,308	1,717	2,805

営業収益・営業原価 内訳推移



(単位:百万円)		22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期	26年3月期 第1四半期	27年3月期 第1四半期
投資開発事業(プロジェクト投資)								
アセット・マネジメント報酬(管理運営報酬等、その他営業収益)(a)		11	9	12	24	16	4	20
プロジェクト運用利益(組合持分利益・インカムゲイン等、その他営業収益)(b)		△15	20	29	25	△22	2	18
プロジェクト運用損失(組合持分損失等、その他営業原価)(c)		141	386	281	137	29	13	20
プロジェクト運用損益(b-c)		△156	△366	△251	△111	△51	△11	18
売却高(営業投資有価証券売却高、組合持分利益・インカムゲイン等)(d)		1,150	887	272	1,552	77	23	23
売却原価(e)		509	90	262	513	2	-	3
評価損・引当(f)		-	75	-	88	53	-	1
プロジェクト投資 キャピタルゲイン(d-e-f)		640	722	10	951	21	23	18
営業収益 小計(a+b+d)		1,145	917	314	1,603	71	30	62
営業原価 小計(c+e+f)		650	552	543	738	84	13	25
営業総利益 小計		495	365	△229	864	△13	16	37
投資運用事業(プライベートエクイティ投資)								
アセット・マネジメント報酬(管理運営報酬等、その他営業収益)(g)		40	17	49	48	131	18	35
成功報酬(管理運営報酬等)(h)		-	-	10	-	15	-	-
売却高(営業投資有価証券売却高、組合持分利益・インカムゲイン等)(i)		1,078	1,943	442	340	930	5	635
売却原価(営業投資有価証券売却原価、組合持分損失等)(j)		337	1,274	203	212	484	7	342
評価損・引当(k)		145	229	645	39	105	-	11
プライベートエクイティ投資 キャピタルゲイン&インカムゲイン(i-j-k)		595	439	△405	89	341	△2	281
営業収益 小計(g+h+i)		1,119	1,960	502	388	1,077	24	670
営業原価 小計(j+k)		483	1,503	848	251	589	7	353
営業総利益 小計		636	457	△346	137	488	16	316
ファンド・プラットフォーム事業								
事務受託報酬(管理運営報酬等、その他営業収益)		144	139	147	158	170	41	43
総計								
営業収益		2,409	3,017	964	2,150	1,320	95	775
営業原価		1,133	2,056	1,392	990	673	21	378
営業総利益		1,276	961	△427	1,160	646	74	397



①投資開発事業

- ・ ファンドの組成や融資による調達資金で設備を保有するSPC（特別目的会社）に対して投資を行い、設備を建設した後、設備を運営または売却する投資事業です。
- ・ インフレや景気の動向に影響を受けにくい特性を持ったプライベートな実物資産に投資をします。主な投資対象は、エネルギー（再エネ発電所、蓄電所）、インフラ（物流施設）、ヘルスケア（障がい者グループホーム）等です。

③ファンド・プラットフォーム事業

ファンド・アドミニストレーターとして長年の実績を有するジャイク事務サービス㈱が、ファンド運営のミドル・バック業務のサービスを提供します。

②投資運用事業

- ・ 企業の発行する有価証券を対象とする投資事業です。
- ・ 当社の強みを活かしてファンドを組成し、伝統的運用資産である上場株式・上場債券を対象としたバイアウト投資やPIPEsなどを行うほか、非伝統的（オルタナティブ）運用資産である未上場企業へのベンチャー投資やバイアウト投資を行います。

JAICの強み



投資候補となる企業やプロジェクトの発掘を通じて、専門性の高い、業界の最先端の動向を把握

アジアでの歴史

1981年に経済同友会を母体に設立されて以来、35年に亘り日本とアジアの経済交流に貢献し、アジアでの高い知名度を有する

最先端の
業界情報収集力

JAIC

ファイナンス
スキーム構築力

ベンチャー企業との
ネットワーク

- ・ 国内外で300社超の上場実績を有し、これまでの投資活動を通じて、多数のベンチャー企業と親密な関係を構築
- ・ そのネットワークを、投資先企業の支援や、当社が新規事業テーマを開拓する際のアライアンスに活用

- ・ 国内外で3,600億円の累計投資実績
- ・ プロジェクト投資事業では、当社からの投資資金だけでなく、プロジェクトファイナンスなどの融資資金も交えた調達スキームを構築

サステナビリティへの取り組み

長期ビジョン

経営理念

「日本とアジアをつなぐ投資会社として少子高齢化が進む社会に安心・安全で質と生産性の高い未来を創ります」

サステナビリティへの取り組み

SDGs投資会社であることをコアバリューとし、経営理念に基づく投資活動を徹底することで持続可能な社会の実現に向けた取り組みを行う

マテリアリティ

Environment

- ◆ 投資を通じた環境負荷軽減と気候変動問題への取り組み
- ◆ 循環型社会に向けてイノベーションに取り組むベンチャー企業を支援

Social

- ◆ 投資を通じた少子高齢化問題の課題解決・包摂的な社会構築への取り組み
- ◆ プロジェクトを通じた地域金融機関と連携による地域社会・地域経済の発展への貢献
- ◆ 人権の尊重と多様性の確保による働きがいのある職場環境の整備

Governance

- ◆ 健全な組織基盤の構築
- ◆ コンプライアンスの徹底
- ◆ リスク管理体制と情報セキュリティの強化
- ◆ 適切な情報開示とステークホルダーとの適切な対話の推進

投資領域

社会の課題を解決する投資会社として

ヘルスケア
(高齢者、障がい者施設)



ディストリビューション
センター (物流施設)



プライベート
エクイティ投資



スマートアグリ
(植物工場)



再生可能エネルギー



ファンド管理



会社概要(2026年6月末現在)



会社名	日本アジア投資株式会社(略称)JAIC	
本社所在地	東京都千代田区九段北3丁目2番4号	
設立年月日	1981年7月10日	
資本金	635百万円	
株式上場市場	東京証券取引所 スタンダード市場(証券コード:8518)	
従業員数	単体24名／連結48名	
事業領域	投資運用事業、投資開発事業、ファンド・プラットフォーム事業	
役員	代表取締役 社長執行役員CEO	丸山 俊
	取締役 常務執行役員CFO	岸本 謙司
	取締役 監査等委員長	橋 徳人
	取締役 監査等委員(独立社外取締役)	澁谷 功
	取締役 監査等委員(独立社外取締役)	丸山 千名美

- ✓ この資料（以下「本資料」といいます。）は、日本アジア投資株式会社（以下「JAIC」といいます。）の連結決算情報についての情報提供のみを目的としており、有価証券の取得その他の投資勧誘をするものではありません。
- ✓ 本資料に記載された将来に関する事項は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、今後予告なしに変更されることがあります。本資料に含まれる意見や予測などについては、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご留意下さい。
- ✓ 本資料に含まれる情報は全て、JAICが著作権その他一切の権利を有しており、JAICの許可無く複製したり転用することは禁じられております。
- ✓ 本資料内の業績数値は全て従来連結基準にて表示しております。



<https://www.jaic-vc.co.jp>

お問合せ先:経営管理グループ IR担当

ir@jaic-vc.co.jp